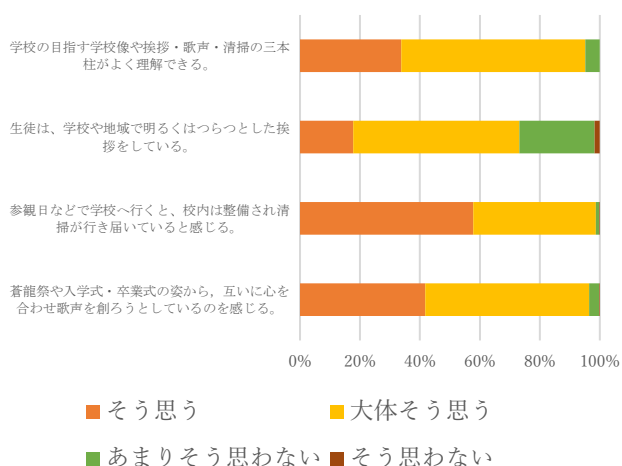


令和6年度 南宮中学校 学校自己評価〔結果と考察〕について

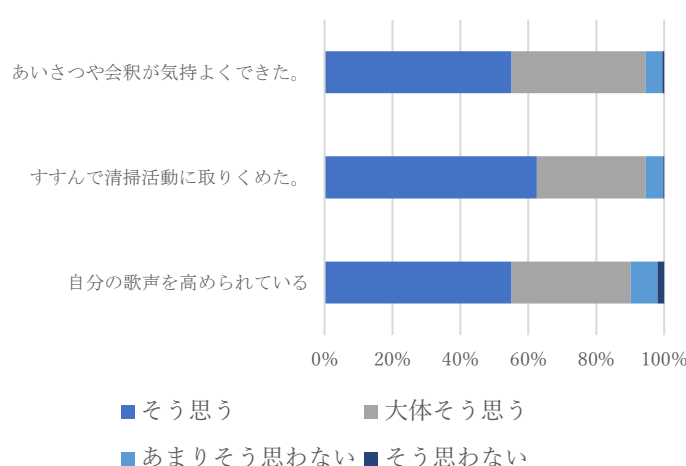
<アンケート結果>

1 南宮中学校が目指す学校像や3本柱〔挨拶・歌声・清掃〕について

保護者アンケート結果



生徒アンケート結果

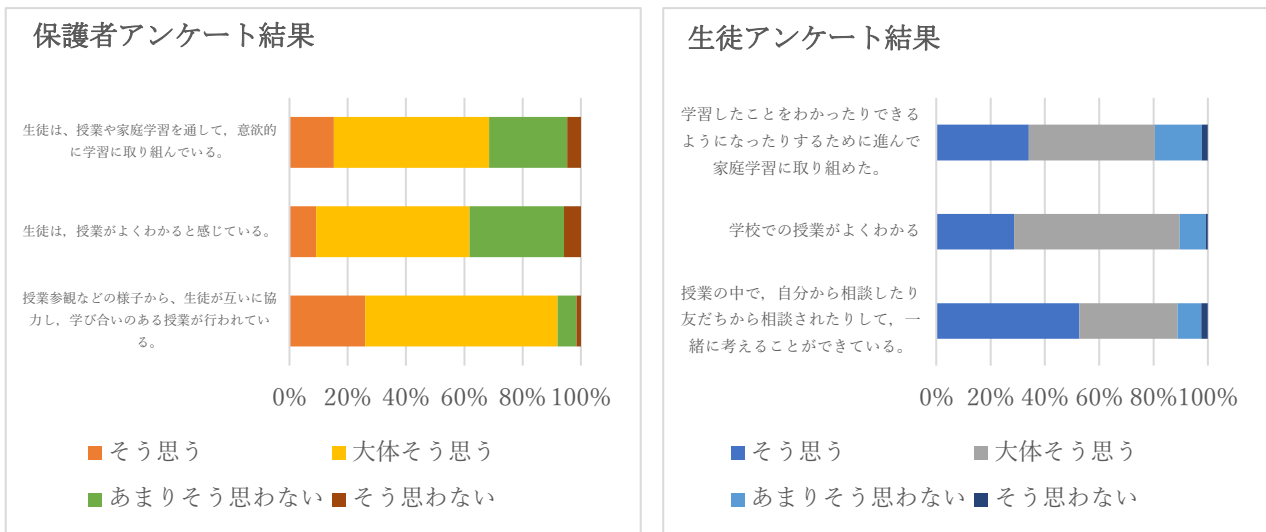


「挨拶」「清掃」「歌声」の3本柱について、生徒が「南宮中学校の伝統」として大切にし、それに対する取り組みについて保護者の皆様にもご理解をいただき感謝いたします。引き続き、学校・生徒・保護者が協力して取り組んでいきたいと考えております。

しかし「挨拶」については、保護者の皆様のとらえと生徒の意識に差が見られます。「3本柱の意義について生徒自身が考える必要があるのではないか」というご意見も頂戴しております。「挨拶の意義」や「気持ちの良い挨拶とはどのようなものなのか」も含め、3本柱が大切にされている理由や取り組む意義を見つめ直し、よりよい学校づくりにつなげて参りたいと思います。

歌声を高めることについては、生徒が誇りを持ち取り組んでいる姿が保護者の皆様にも伝わっていると考えます。「歌声を実際に聞きたい」という要望もいただき、生徒の頑張りを認めてくださっていることに感謝いたします。

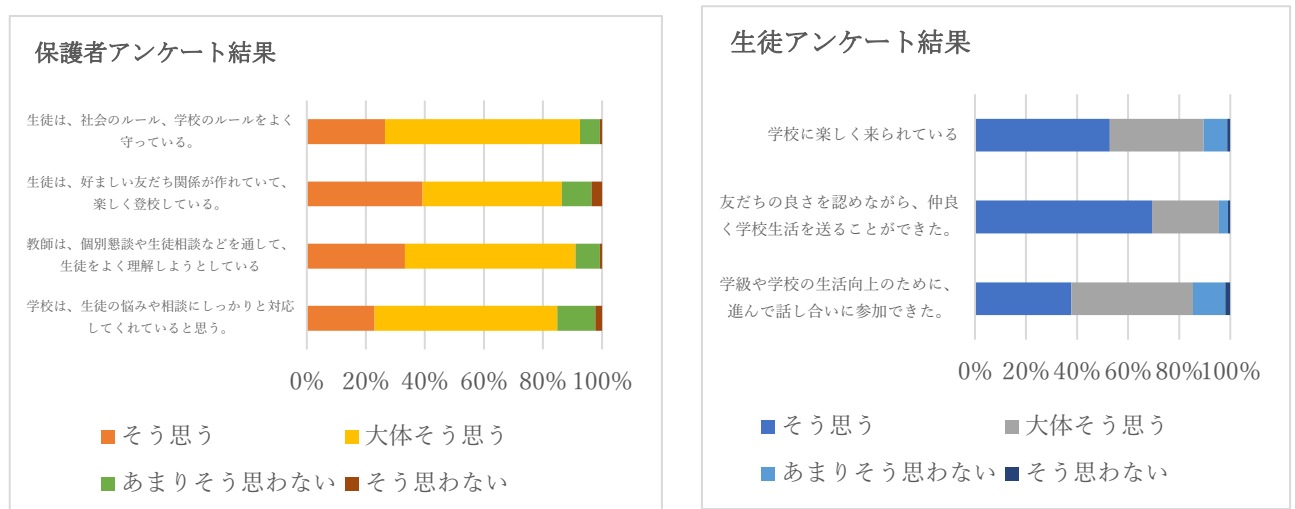
2 学習・授業について



昨年度より、生徒が互いに協力しながら学び合うことを授業の中で大切にしております。今年度は、授業ガイダンスを行い、授業の中で、わからないことを聴き合うことや自分の考えをはっきりさせることを職員も含め全校の共通課題として取り組んできております。その成果が、互いに関わり支え合う関係の中で学ぶことにつながっており、保護者の皆様にもご理解いただいていることに感謝いたします。また、生徒アンケートの結果を見ると、互いに相談できることで学習への理解につながっているようです。引き続き、互いに学び合える授業づくりに取り組んでいきたいと考えます。

しかし、家庭学習への取り組みについては、保護者アンケートと生徒アンケートから、家庭学習に取り組めていない生徒が一定数見られるという結果になっています。「宿題をしっかりと出してほしい」という要望もいただいております。学習内容の定着や理解を深めるためには、家庭学習を行うことは必要と考えます。メディアコントロール週間を通じて、メディアから離れることで学習する時間が確保できている実績も踏まえ、家庭学習への取り組みについては、引き続き家庭と協力し取り組んでいきたいと考えます。

3 生徒の心の成長、人間関係について



友達との関係が良好に築けている生徒が多く見られ、ご家庭でお支えいただいていることに感謝いたします。しかし、友だちとの関係等に悩みを抱えている生徒が多くいることも事実です。学校では、各学期や諸活動等で担任や学年職員と生徒との懇談の機会を持っていますが、これに限らず教科担任や養護教諭等も含めて生徒一人ひとりへの支援・指導を大切に考えています。引き続き、全職員が協力して支援・指導を行いながら、ご家庭とも情報共有を丁寧に行って参りたいと思います。

生徒アンケートの「生活向上」については、「参加があまりできていない」と回答する生徒も見られますが、本年度、南宮中学校では生徒会の会則を見直し、自分たちの生活をよりよくするための意見交換を生徒総会や代議員会でできるように改訂いたしました。生徒自身が学校を創る主人公となり学校づくりができるよう取り組んで参りたいと考えます。

4 自由記述欄のご意見について

本年度の学校の取り組みに対して、温かいお言葉や励ましの声をいただき感謝いたします。また、改善点についてのご意見もいただき、大変貴重な声と受け止めています。改善点は、大きく分けると以下のように分けることができます。

- ① 蒼龍祭での音楽会について
- ② 授業や家庭学習について
- ③ 校内駐車場の進行方向および校門前の横断歩道の渡り方について
- ④ 感染症の状況や学校の様子について

- ・ 蒼龍祭の音楽会については、多くの皆様から会場で演奏を聴きたいという要望をいただいております。座席数の関係もありますが、今後検討させていただきます。
- ・ 校内の駐車場の進行方向を時計回りでお願いさせていただいております。ご協力ありがとうございます。保護者以外の方が駐車する機会も増えてきております。時計回りであることがわかるよう、校門のところに進行方向を示す矢印をつけさせていただきました。
- ・ 横断歩道の渡り方については、交通安全指導も含め指導していきます。

いただきました意見については、来年度の学校運営の方向について検討する中で、関係者や学校内で相談し、今後にかしてまいりたいと思います。今後もお気づきのことがございましたら、いつでもお申し出ください。

5 コミュニティースクール運営委員会より（学校関係者評価）

- ・ 三本柱（挨拶、清掃、歌声）が生徒の中に位置付いており、誇りを持って取り組んでいる様子がうかがえます。特に、学年合唱は一生懸命つくり上げていることが伝わってきます。しかし、挨拶については、誰にでもできる人とそうでない人の意識の差が目立ってきているのではないのでしょうか。全校が気持ちよく挨拶ができるとよいと思います。
- ・ 家庭学習の取り組み方がわからない生徒もいるかもしれません。生徒の意識の向上をする必要があ

ると思います。

- ・一人ひとりの生徒が明るく活発に取り組み、互いに学び合っている印象を受けました。受け身で授業に臨むのではなく、参加する授業という生徒の意識が見受けられます。一人ひとりが、自分のペースで学んでいると感じます。
- ・生徒アンケートで「授業がよくわかる」と回答が多かったことについてはプラスにとらえつつも、「よくわからない」と回答した生徒への対策をしっかりと考えていく必要があると思います。家庭学習への取り組みの結果も含め、学校だけが取り組むのではなく学校と家庭が連携していく必要があると思います。
- ・生徒一人ひとりに細やかな配慮をしていただいていることがありがたいです。また、授業では先生方が笑顔で、丁寧に接していることが、良い学習環境を作り出していると思います。
- ・学校全体が明るく拓かれた校風があると思います。「学校に行ってみようかな」と思えるような学習環境を整えるなど、生徒の個々の事情への対応も大切にされていると感じます。引き続き、生徒一人ひとりが安心して学べるようお願いします。
- ・部活動は、将来の牧選手や久石譲さんのような人材を育成する入り口として、大切な活動だと考えます。地域移行しても、運動・文化面の両方の活動について取り組めるようにする必要はあると思います。取り組みについては、保護者の方の協力が不可欠となるため、様々な負担（送迎や金銭面）がでることは心配しています。学校・地域・教育委員会・保護者が連携していく必要があると考えます。